

◆ 千代田都税事務所長賞 ◆

「税金とSDGs」

千代田区立神田一橋中学校 2年 近松 珂歩

日本には「入湯税」という税金があります。日本では当たり前ですが、世界から見ると珍しい税金です。そこで私は逆に世界にある珍しい税金について調べてみました。その中で、イギリスのロンドンで導入されている「渋滞税」を知りました。「渋滞税」は、渋滞の緩和や大気汚染の解消などを目的に二〇〇三年から導入されていて、区域と時間を決め、決められた時間に決められた区域を走行する車に対して税金を課すというものです。実際に導入された翌年には渋滞が三十%減少したそうです。近年でも大気汚染が問題となり地球温暖化が進んでいるのが現状です。大気中の二酸化炭素は増加し続けているので渋滞が三十%も減少するのは良いことだと思いました。

私はこのような税金が日本にもあれば良いと思いました。そこで私は、三つの税金を考えてみました。

一つ目は「食品ロス税」です。食品が捨てられている量が多く、問題になっているからです。例えば、決められた重さ以上捨てると税金がかかるようにすると良いと思いました。

二つ目は、「プラスチック税」です。プラスチックのリサイクル率は増えたけれど、まだ海に捨てられ、海洋生態系への影響が問題になっているからです。例えば、プラスチックの容器に税金をかけて、プラスチックの使用量を減らすようにすると良いと思いました。

三つ目は、「ペーパーレス税」です。紙の原材料として利用するための過剰な伐採による森林破壊が問題になっているからです。例えば、決められた重さ以上使用したら税金をかけて、紙の使用量を減らすようにすると良いと思いました。

私は、税金について調べてみて、個別消費税の種類が思ったより少ないので、もっとつくれる可能性があるのではないかと思いました。さらに、今、重要とされているSDGsの問題と合わせて考えられると良いのではないかと思いこのように考えました。税収が増え、同時にSDGsに貢献できれば一石二鳥だと思いました。

私は、最初は税金のことをあまり気にしていなかったけど、この作文で税について調べていくうちに税金の重要さが分かりました。私たち一人一人が税について知り、考えることが大切だと思いました。